

## 2026年度 修士課程入学試験（春期）

## 試験問題〔専門〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

---

問題A-1～E-8の中から志望研究指導の問題について解答しなさい。

志望研究指導以外の問題を選択した場合や2問以上解答した場合は採点されません。

---

問題記号	研究領域	ページ
A-1～7	スポーツ文化研究領域	P. 2
B-1～9	スポーツビジネス研究領域	P. 3～4
C-1～17	スポーツ医科学研究領域	P. 5～7
D-1～6	身体運動科学研究領域	P. 8
E-1～8	コーチング科学研究領域	P. 9～10

## A. スポーツ文化研究領域

### A-1 研究指導名：スポーツ史（石井 昌幸）

イギリスで生まれたクリケット、サッカー、ラグビーなどのスポーツが、世界各地へ伝播していった過程について、知るところを述べよ。

### A-2 研究指導名：舞踊論（杉山 千鶴）

舞踊の一ジャンルを事例に、これを担うダンサー／演者のトレーニング（レッスン、稽古等）について、①内容、②特性、③目指すところについて述べよ。

### A-3 研究指導名：体育科教育学（吉永 武史）

体育授業において生徒の課題解決的な学習を効果的に進めていくためのポイントについて、球技領域の単元を例に挙げて述べよ。

### A-4 研究指導名：スポーツ教授学（深見 英一郎）

スポーツ指導面において、学習者の探求的学習を促す上で、指導者はどのような働きかけができるのかについて考えるとこを述べなさい。

### A-5 研究指導名：スポーツ社会学（中澤 篤史）

社会学の発展に大きく貢献する業績を残した社会学者をひとり挙げ、その業績の意義を解説しなさい。

### A-6 研究指導名：スポーツ文化論（川島 浩平）

特定の競技に優れたアスリートが多い国または地域を一つ取り上げ、その国または地域がなぜ、いかにその競技で優れたアスリートを輩出しているのかを説明しなさい。

### A-7 研究指導名：アジアのスポーツと身体文化（高嶋 航）

アジアにおける植民地主義とスポーツの関係について、知るところを述べよ。

## B. スポーツビジネス研究領域

### B-1 研究指導名：スポーツ経営学（木村 和彦）

大谷翔平に限らず、近年さまざまなスポーツにおいて、日本のアスリート・若者が世界的な舞台上で活躍している。それを可能にしている要因について、スポーツ経営の視点から論じなさい。

### B-2 研究指導名：健康スポーツ論（中村 好男）

「OTC 類似薬の保険適用見直し」の論点を整理したうえで、健康づくりの観点からの意味を論ぜよ。

### B-3 研究指導名：トップスポーツビジネス論（平田 竹男）

B リーグが、入れ替え戦をしないプレミアリーグを創設した。それまでの B1、B2、B3 のリーグ構造とどのような違いが出るか述べてよ。

### B-4 研究指導名：スポーツ組織論（作野 誠一）

わが国のスポーツ競技団体におけるガバナンス（統治）不全の問題を指摘したうえで、その是正・解決に向けた組織内外の具体的な取組みについて知るところを述べなさい。

### B-5 研究指導名：スポーツビジネスマーケティング（松岡 宏高）

スポーツ組織（プロスポーツチーム、フィットネスクラブ、競技団体など）が消費者（観戦者、利用者、会員など）の特性を理解することは重要であると考えられている。この理由について論理的に説明せよ。

### B-6 研究指導名：スポーツビジネス法（松本 泰介）

日本のプロ野球と Jリーグの選手移籍制度の違いについて、いくつか比較の視点を提示しながら述べなさい。

### B-7 研究指導名：スポーツ&エンターテインメントマネジメント（佐藤 晋太郎）

スポーツ観戦はファンのウェルビーイングを向上させるというエビデンスが報告されています。この関係性を拡張するための研究デザインを自由に考えて説明してください。実現可能性は問いません。

### B-8 研究指導名：スポーツプロモーション論（高橋 義雄）

2024年に日本で生まれた日本人の子どもの数は、前年比 5.7%減の 68万 6061人で、統計のある 1899年以降初めて 70万人を割った。このことがスポーツ政策に与える影響について論じなさい。

#### **B-9 研究指導名：スポーツ経営戦略（大井 義洋）**

スポーツ産業はグローバル化やテクノロジーの進展、社会的価値への期待の高まりなど、急速な環境変化にさらされています。こうした変化の中で、スポーツ組織が競争優位を維持・構築していくためには、どのような戦略的視点が必要だと考えますか。具体的なスポーツ事例を交えて、あなたの考えを論じてください。

## C. スポーツ医科学研究領域

### C-1 研究指導名：運動免疫学（赤間 高雄）

アスリートの免疫機能を測定評価する方法を具体的に2つあげて、それぞれの長所と短所を説明しなさい。

### C-2 研究指導名：健康行動科学（岡 浩一朗）

高齢者における身体活動不足や座りすぎの実態について解説し、それらが認知機能の低下や認知症の発症に及ぼす影響について、知るところを述べよ。

### C-3 研究指導名：スポーツ整形外科学（金岡 恒治）

アスリートの腰椎屈曲運動の繰り返しによって発生する腰部障害の病態を知る限り提示し、それらの共通の対処方法について述べよ。

### C-4 研究指導名：予防医学（鈴木 克彦）

運動誘発性筋損傷（exercise-induced muscle damage: EIMD）に関して、その特徴、機序および予防対策について知るところを述べよ。

### C-5 研究指導名：アスレティックトレーニング（広瀬 統一）

筋肥大のメカニズムには、メカニカルテンション、筋組織へのダメージ、代謝ストレスの3要因が関与する。これらの生理学的根拠について説明したうえで、競技現場またはトレーニング指導において実践可能なエクササイズプログラムの構成例を対象（例：競技レベル、年齢）を明示して提示しなさい。

### C-6 研究指導名：筋生物学（秋本 崇之）

運動によるヘルスベネフィットに関して、1つ例を挙げ、その分子メカニズムに関して、現在理解されているところを述べよ。

### C-7 研究指導名：運動代謝学（宮下 政司）

代謝性疾患の予防のために、身体活動や食事がどのような役割をもたらすか、述べよ。

### C-8 研究指導名：運動器スポーツ機能解剖学（熊井 司）

人体の構造の中で腱・靭帯が骨に付着している部分は解剖学的にエンテシス（enthesis）と呼ばれ、様々なスポーツ障害が発生することが知られている。

下記選択肢より、エンテシスに起こる代表的なスポーツ障害を1つ選び、その病態と治療法、予防法について知るところを述べよ。

選択肢（エンテシスに起こる代表的なスポーツ障害）：

テニス肘、ゴルフ肘、ジャンパー膝、アキレス腱付着部症、足底腱膜症、有痛性外脛骨

### C-9 研究指導名：健康教育学（石井 香織）

子どもの健康問題を1つ挙げ、健康教育学の理論を援用し、その予防または改善を目指すためにはどのような働きかけが考えられるか。具体例を挙げ述べよ。

### C-10 研究指導名：スポーツ神経精神医科学（西多 昌規）

ヒトの生体リズム（概日リズム）は、内因性の周期性をもつ生理的・行動的変動であり、睡眠・覚醒、ホルモン分泌、体温調節などに影響を及ぼします。特にメラトニンや深部体温は、その代表的な指標とされています。以下の問いに答えてください。

1. メラトニン分泌および深部体温の概日変動について、その基本的な特徴を説明しなさい。また、生体リズムの測定方法について、具体的な手法と、それぞれの利点および限界を述べてください。
2. 生体リズムが運動パフォーマンスや身体機能に与える影響について、具体的な研究知見を交えて論じなさい。さらに、アスリートのトレーニング計画や試合スケジュールへの応用について、あなたの見解を述べてください。

### C-11 研究指導名：スポーツ疫学（澤田 亨）

「システマティックレビュー」と「メタアナリシス」それぞれの概要とお互いの関係を説明してください。

### C-12 研究指導名：アスレティックパフォーマンス（平山 邦明）

持久系競技のアスリートがストレングス（レジスタンス）トレーニングを行うメリットと、メリットが生まれるメカニズムとして考えられることを答えよ。

**C-13 研究指導名：環境運動生理学（細川 由梨）**

日本スポーツ協会は、「熱中症予防のための運動指針」において、暑さ指数（WBGT）が 31 に達した場合、「運動は原則として禁止」とする基準を設けている。しかし、近年では WBGT が 31 に達する気象条件は、決して珍しいものではなくなっている。

このような現状をふまえ、本基準について

- (1) 修正すべきである、または
- (2) 修正すべきではない、

のいずれかの立場をとり、その理由を環境運動生理学の観点から論じなさい。

**C-14 研究指導名：スポーツ生化学・遺伝学（谷澤 薫平）**

持久性トレーニングにより骨格筋のミトコンドリアが増加するメカニズムについて知るところを述べよ。

**C-15 研究指導名：スポーツ生理学（前田 清司）**

漸増運動負荷中の心拍数、1回拍出量、心拍出量の応答について説明しなさい。

**C-16 研究指導名：応用生理学（宮地 元彦）**

BMI が 28 程度の肥満の方が、5kg 程度の減量（体重の減少）に取り組む際に注意すべき点について、身体活動と食事の両面から述べなさい。

**C-17 研究指導名：ハイパフォーマンス科学（宮本 直和）**

筋内膜（endomysium）、筋周膜（perimysium）、筋外膜（epimysium）について説明せよ。その上で、これらが筋の力発揮特性あるいは筋の外傷や障害とどのように関連するかについて、知るところを述べよ。

## D. 身体運動科学研究領域

### D-1 研究指導名：生体ダイナミクス (川上 泰雄)

①骨格筋の形態と機能の関係と、②トレーニングや不活動によって左記がどのように変化し得るかについて、説明しなさい。

### D-2 研究指導名：スポーツ心理学 (正木 宏明)

運動学習における一次運動野、大脳基底核、小脳、帯状回の役割について、学習課題の差異を考慮したうえで説明しなさい。

### D-3 研究指導名：統合運動神経生理学 (宝田 雄大)

以下の2問のいずれかを選択し、その設問に解答しなさい。

A ヒトの随意筋収縮力決定因子3つのうち、中長期的な筋力トレーニングにより改善を期待できる因子を挙げ、その理由を述べよ。

B Takarada et al. (2000) は、局所的な血流制限下のレジスタンス (加圧) トレーニングでは、たとえ低強度でも、高強度の場合に匹敵する筋肥大をともなった筋力増加を引き起こすことを明らかにした。このメカニズムには、筋収縮のメカニカルストレスによるタンパク同化シグナル経路活性に加え、①追加的な運動単位の動員、②血漿成長ホルモン濃度の増加、③血中インスリン様成長因子 (IGF-1) の増加、④筋由来 IGF-1/mechano-growth factor の増加、と myostatin の減少、⑤一酸化窒素を含めた、活性酸素種の影響等の要因が考えられている (Takarada, 2010; 2016)。これらの要因のうち②について考えるところを述べよ。

※出典は下記に記載しております。

### D-4 研究指導名：バイオメカニクス (矢内 利政)

閉鎖型運動連鎖 (closed kinetic chain) の力学的特性について説明せよ。また、閉鎖型運動連鎖に分類されるエクササイズを1つ挙げ、この運動を実施する際の各関節の運動と関節トルクの関係について力学原理に基づいて議論せよ。

### D-5 研究指導名：スポーツ栄養学 (田口 素子)

暑熱環境下の運動時に脱水を予防する方策について説明しなさい。

### D-6 研究指導名：運動生理学 (林 直亨)

ヒトの心拍出量を調節する生理的メカニズムを説明しなさい。その後、運動に伴う心拍出量の変化と生理的意義について、知るところを述べなさい。

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

(参考文献)

Takarada, Y., et al. J. Appl. Physiol. 88, 2097-2106 (2000).  
Takarada, Y. Clinical Neuroscience 28, 1216 - 1217 (2010).  
Takarada, Y. J Phys Fitness Sports Med. 5, 123-130 (2016).

## E. コーチング科学研究領域

### E-1 走運動・コーチング科学 (磯 繁雄)

以下の選手に到達目標を達成するために現状を踏まえて具体的トレーニング概要と計画をキーワード含め述べよ。

到達目標：最大疾走速度毎秒 10m/s を出現する。

現状：「現状最大速度毎秒 9.4m/s」「男子サッカー選手」「最大速度でのストライド 2.09m・ピッチ 4.5 回」「トレーニング期間 3 か月」 トレーニング環境及びデータ取得のためのスタッフ及び予算は整っている。

キーワード：主観と客観を融合する

### E-2 トップスポーツコーチング科学 (奥野 景介)

ハイパフォーマンスを獲得することを想定したアスリートに対するコーチングについて、コーチ育成・養成のパスウェイについて、特定の種目を例にして自分の考えを述べなさい。

### E-3 スポーツコーチング学 (土屋 純)

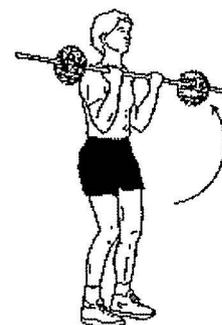
発育発達の段階に応じたコーチングについて解説しなさい。

### E-4 コーチングとこころの科学 (堀野 博幸)

コーチングに携わる際に、「メンタルヘルス」が重要となる理由を、コーチング現場での具体例を示して説明してください。

### E-5 トレーニング科学 (岡田 純一)

20kg のバーベルを用いて図の様にアームカール (Arm curl) 運動を実施しているとき、挙上中に重く感じる範囲があり、その重く感じる範囲を過ぎると、楽に (軽く) 感じた。挙上重量は一定 (20kg) であるのにそのような体感を得る理由を説明しなさい。



### E-6 チームスポーツコーチング論 (松井 泰二)

チームスポーツと個人スポーツにおける異なる点について説明をしたうえで、チームスポーツのマネジメントについて具体例を示して説明しなさい。具体例を示す際は、競技名や種目を明示しなさい。

**E-7 武道のコーチング学 (射手矢 岬)**

柔道で起こり得る重大事故の例を挙げなさい。そして、その事故を防ぐための『受け身』の指導法を説明しなさい。

**E-8 冬季スポーツコーチング学 (藤田 善也)**

冬季スポーツを対象とした先行研究を概説した上で、得られた知見がコーチングにどのように寄与するかについて述べよ。



